

令和7年度 京都市伝統産業活性化推進審議会

産業観光局クリエイティブ産業振興室

本日の内容

1 計画及び審議会について

2 計画の進捗について

3 具体的な取組について

4 今後に向けて

1 計画及び審議会について

京都市伝統産業活性化推進条例(平成17年度施行)

○ 目的

伝統産業の活性化を総合的かつ計画的に推進するため、

- ・ 伝統産業の活性化の推進に関する基本理念、施策の基本となる事項を定める
- ・ 京都市及び事業者の責務並びに市民の役割を明らかにする

⇒京都市、事業者、市民がそれぞれに伝統産業の活性化に努める

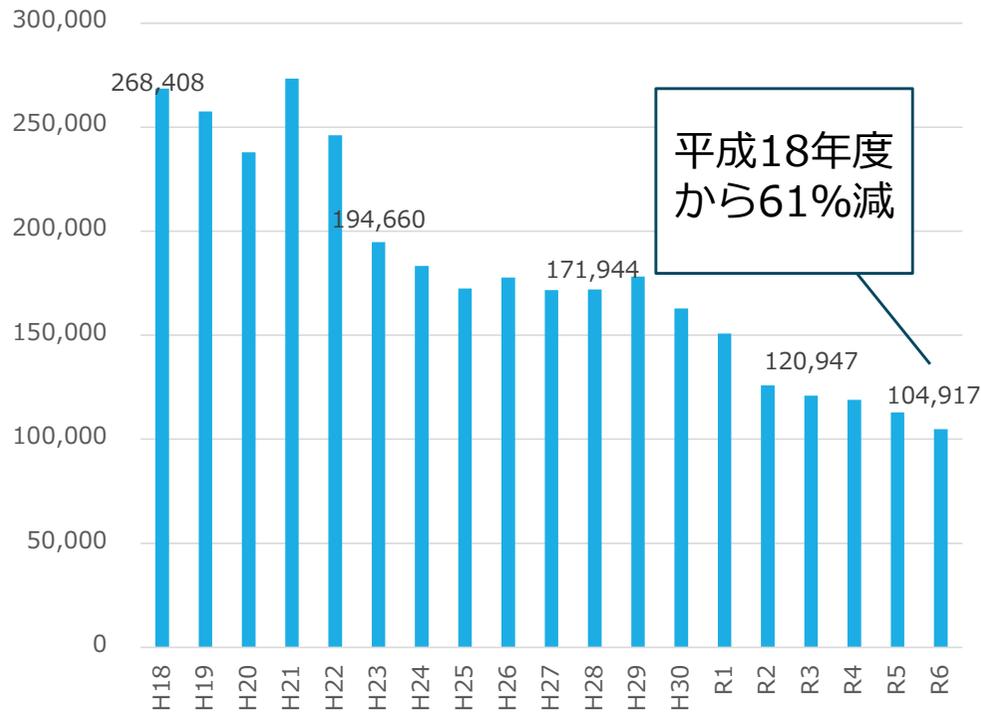
○ 京都市伝統産業活性化推進審議会

伝統産業の活性化の推進に関する事項について、調査・審議し、意見を述べる。

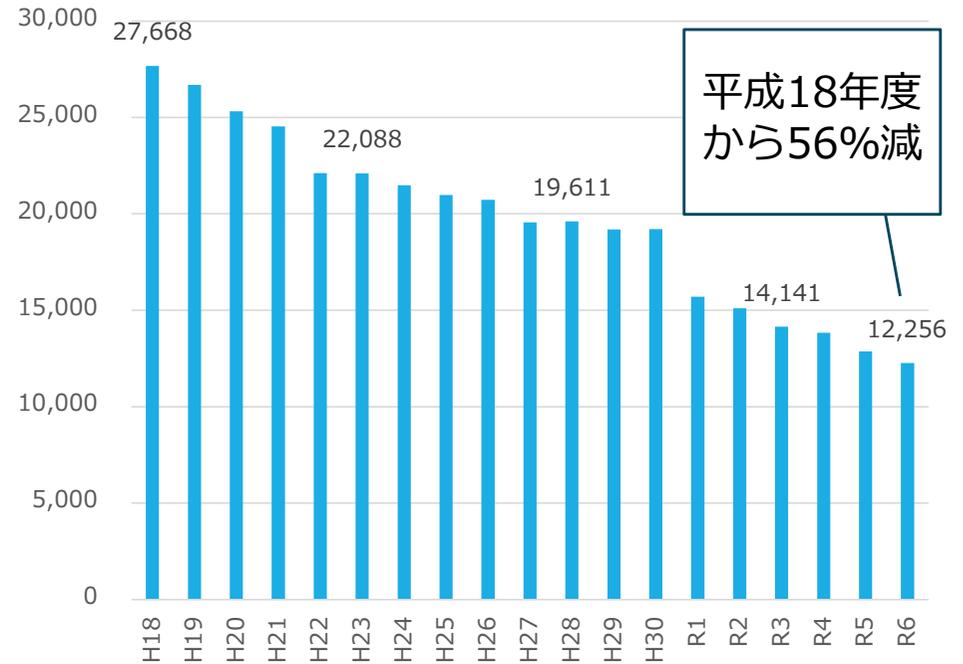
1 計画及び審議会について

現状(74品目業界アンケート調査)

出荷額(単位:百万円)



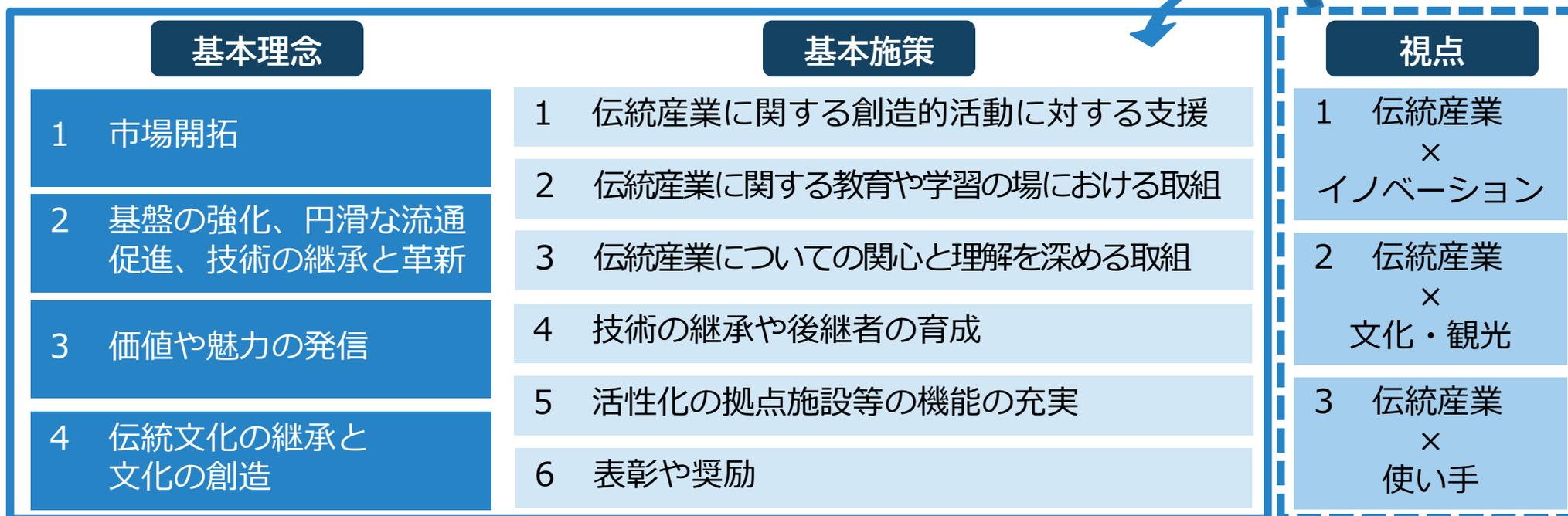
従事者数(単位:人)



1 計画及び審議会について

第3期京都市伝統産業活性化推進計画

- ・計画期間：平成29年度～令和8年度（10年間）
- ・最大の目標：平成27年度比出荷額の増加※令和6年度時点で平成27年度比△39%



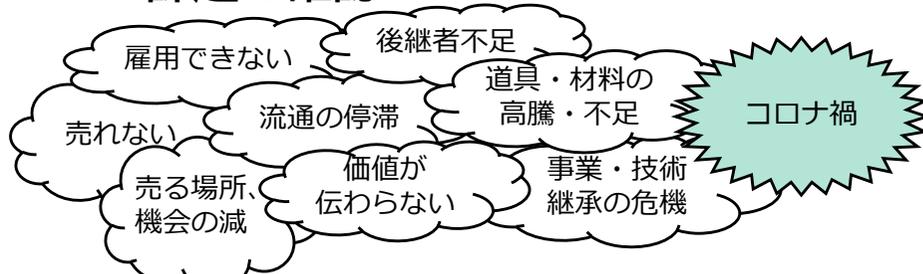
1 計画及び審議会について

第3期京都市伝統産業活性化推進計画後半期5年に向けて

1 京都の伝統産業振興に向けた今後の取組について

伝統産業の活性化により、文化と産業・経済の好循環を構築し、都市の成長戦略の推進・SDGsの達成に貢献

2 課題の確認



ビジョンを考えるうえでの4つのポイント

- ① 持続可能なものづくり
- ② 暮らしの中に伝統産業品を
- ③ 選ばれる商品づくり
- ④ つくり手・買い手・使い手のコミュニケーション活性化

**京都のブランド力、
都市格の向上
(成長戦略に貢献)**

3 ビジョン

★商品開発

ニーズをとらえ、新たな顧客獲得につながる商品を開発できている。

★魅力発信・市場の拡大

つくり手・買い手・使い手のコミュニケーションが活性化している。

★販路拡大

EC、バーチャル、海外展開などあらゆる手法で販路拡大が進んでいる。

★流通

卸・問屋によるコンサルやECによる直販など多様な選択肢があり円滑に機能。

★社会課題解決に貢献

社会課題解決につながるものづくりが進んでいる。

★後継者育成

働きたい若者と担い手を必要とする事業者がマッチングできている。

★事業承継・技術承継

事業者同士がM&A等によりマッチングできている。

★観光

宿泊施設等とマッチングし、活用されている。工房訪問、体験が充実。購入できる場所も充実。

★文化

文化事業との連携・融合が一層進んでいる。暮らしの中に取り入れられ文化度の高い生活が定着。

★好事例の共有

好調な事例が業界全体に共有されており、底上げにつながっている。

計画の進捗について(6つの基本的施策)

基本的施策1 伝統産業に関する創造的活動に対する支援

- ・他分野と連携したものづくりや販路拡大など先進的な取組を支援する「**未来構築事業**」の実施
(補助金：R4年度14件、R5年度16件、R6年度18件、R7年度20件採択)
(新商品開発プロジェクト：商品開発等に知見のある事業者と伝統産業事業者が協働で新商品を開発・販売)
- ・若手職人がインターンシップを受け入れ、コーディネーターと共に広報や営業、雇用に係る経営能力の向上に取り組む「**京もの担い手育成事業**」の実施(通算19事業者)
- ・首都圏PR(**京都館PJ**(動画配信、体験事業)、大正大学との連携)
- ・マンガ・アニメ、ファッションブランド・雑誌との**コラボ事業**の実施
- ・**ふるさと納税返礼品**としての出品・商品開発



基本的施策2 伝統産業に関する教育や学習の場における取組

- ・職人とともに制作体験を行う「**京の匠ふれあい事業**」の実施(R6:延雇用数794人)
- ・小学4年生用副読本「**わたしたちの伝統産業**」の発行
(R7:14,000冊を発行。市内小学校等174校など、各所で配布)
- ・大学・学校等での講義・授業(R6:実績8回)
- ・市内の中高生・留学生向けにきもの着付け&伝統工芸体験イベントを実施(R6:139人参加)



計画の進捗について(6つの基本的施策)

基本的施策3 伝統産業に関する関心と理解を深める取組

- ・「伝統産業の日(春分の日)」を中心に、年間通じて業界団体や民間事業者とともに普及啓発を実施
- ・「日本酒乾杯条例」の全国に先駆けた制定
- ・「和のしつらえ」、「京都和活」の提唱・提案・普及促進
- ・隼より始めるプロジェクト(京もの販売会の開催、和装勤務等)
- ・地下鉄烏丸線新車両「おもいやりエリア」への伝統産業品展示(9編成×2業種)



基本的施策4 技術の継承や後継者の育成

- ・若手職人への**育成資金**の支給(R7から支給要件拡大、通算1,365人)及び「京の伝統産業わかば会」での活動支援
- ・伝統産業の後継者確保と障害のある方の就労機会創出を両立する「**伝福連携担い手育成支援事業**」の実施(R7:2業種を採択。通算8業種)
- ・技術継承に向け老朽化した設備の改修を支援する「**設備改修等事業補助制度**」の実施(R6年度から新規雇用や新商品開発等につながる新設は補助率アップ、R7申請件数98件)
- ・他分野と連携した先進的な取組を支援する「**伝統産業未来構築事業**」の補助対象に、「技術継承に資する取組」を追加(R7:7事業を採択)
- ・学生等に対して業界への就職に関する状況や意識等を把握する調査や、職場体験や学生等と事業者の交流を行い、伝統産業技術後継者の雇用・就職につなげる「**伝統産業技術後継者マッチング事業**」を試行的に実施

計画の進捗について(6つの基本的施策)

基本的施策5 活性化拠点施設等の機能の充実

- ・ **京都伝統産業ミュージアム**の機能強化
(観覧料を設定→展示内容・職人実演の充実、体験ブースの設置、解説案内機能の充実など)
- ・ **(独法)京都市産業技術研究所**の機能強化・連携強化



基本的施策6 表彰や奨励

- ・ 職人の長年の功績を称える「**伝統産業技術功労者表彰顕彰**」(延べ1,222名)
- ・ 伝統産業の中核を担う中堅職人を認定する**京の伝統産業「未来の名匠」認定制度**(延べ156名)



⇒ 計画に定める6つの基本的施策の取組事例 全てに着手！

3 具体的な取組

(基本的な施策1_伝統産業に関する創造的活動に対する支援)

京都市伝統産業未来構築事業

○伝統産業の未来への継承に向け、幅広い分野・業種とのコラボレーションを通じ、

- ・販路開拓・拡大に資する事業
- ・新商品開発を含む商品力の向上に繋がる事業
- ・後継者・技術者の確保・育成又は技術継承に資する事業
- ・確保が困難な道具・部品対策
- ・海外展開に繋がる事業

等に先進的に取り組むグループ等を伴走支援

○R7年度：20件に事業経費の一部を補助（うち9件が海外展開枠、7件が「技術継承・確保が困難な道具部品対策」枠）

○コーディネーター（京都伝統産業ミュージアム）による進捗管理、セミナー・相談会・交流会の開催等により、事業効果の最大化、業界全体への波及につなげる。



京たたみ×インド（海外展開枠）

需要の激減により厳しい状況にある熊本県産のイ草の持続可能な生産に向け、新たにインドで京畳の販路を開拓



京焼・清水焼×原材料確保

京焼・清水焼の陶土や釉薬として用いられる高品質な原料（カオリン）の安定的な確保のため、韓国事業者と関係を構築。



漆×担い手育成

気軽に漆の魅力に触れられる場を整備するとともに、その価値を理解し、伝え広げていく担い手を育成。



京鹿の子絞×中国（海外展開枠）

京鹿の子絞の伝統技術を使った新商品を開発するとともに、染めの様子を中国で実演することで、魅力を伝え、購入につなげる。

3 具体的な取組

(基本的な施策1_伝統産業に関する創造的活動に対する支援)

様々なマッチング

民間企業や金融機関等からの様々な伝統産業に係る御相談に対し、
 伝統産業ミュージアム等とも連携して対応可能な職人・事業者の紹介（マッチング支援）や後援、広報協力等を実施
 ⇒近年は、金銭等の直接支援だけでなく、展示、販売会場の提供や好条件での販売契約など間接的な支援も増加

(事例)

○ 体験事業・販売企画への職人等の紹介

- ・無印良品京都山科店「つながる市」における展示販売（わかば会から4事業者が出展）
- ・ホテルグランヴィア京都：「まなぶんか（体験事業）」年数回。約20の事業者出展
- ・京都ポルタ「京まちなか市（販売・体験）」月1回程度開催。わかば会や京もの担い手プラットフォームから若手職人が出展
- ・プリンスホテル（高輪エリア）：体験事業を年2回実施。これまで35事業者が参画



○ コラボ事業への事業者の紹介

- ・マンガ、アニメ、ゲームなどを扱う企業への伝統産業事業者の紹介

○ その他

- ・地下鉄烏丸線「おもしろエリア」への伝統産業品の展示（9編成×各2業種）
- ・ラジオ局aステーションの番組「ONLYLOVERADIO（オンリーラブレディオ）」に未来の名匠を紹介し、月1回程度の番組出演
- ・海外ビジネスマッチングサイト「J-GoodTech（ジェグテック）」内の京都市特設ページに掲載する伝統産業事業者を紹介（R8.1時点で33社）
- ・京都芸術デザイン専門学校に伝統産業事業者を紹介し、学生と事業者が新商品アイデアとパッケージデザインを検討



3 具体的な取組

(基本的な施策3_伝統産業に関する関心と理解を深める取組)

「伝統産業の日」事業の充実

1 作品の世界観を表すワークショップ(伝統工芸の制作体験等)の開発

題材となる「絵本」の世界観を表現した作品の完成を目指すワークショップを開発。

2 作品とコラボした商品の開発・販売

1のワークショップの開発・実施に当たって制作する見本(完成品)を商品開発し、販売。

3 「絵本&クラフトフェスタ」の開催

1のワークショップ及び昨年度までに開発したワークショップが体験できるイベントを開催。

日時：令和8年2月8日(土) 午前10時～午後5時

場所：イオンモールKYOTO

4 匠エキスポ

若手からこの道を極めた名匠まで、京都の伝統産業の技術が結集する合同の展示販売会を開催

例年の職人実演やワークショップ等に加え、清酒、京菓子、京漬物等が楽しめるグルメエキスポも初開催

日時：令和8年3月14日(土)～15日(日) 午前10時～午後5時

場所：京都市勧業館みやこめっせ



3 具体的な取組

(基本的な施策3_伝統産業に関する関心と理解を深める取組)

「伝統産業の日」事業の充実

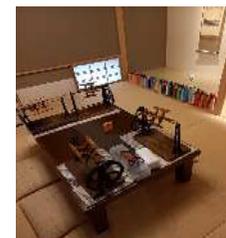
京都ならではの「京都和活」を提唱し、京都の伝統産業や伝統文化にとって欠かせない「和のしつらえ」の魅力をより深く知る機会を創出するとともに、日常生活に和のしつらえを取り入れたいと感じる方を増やす。

1 住宅メーカーと連携した京都和活の展示・体験

京都五条住宅展示場内のモデルハウス（12軒）で、現代の生活にマッチした伝統産業品を展示したほか、ワークショップ、各モデルハウスを周回するクイズラリーも実施。住宅購入を考える方へ和のしつらえを提案。

日時：令和7年11月15日（土）～16日（日）

場所：京都五条住宅展示場



2 ふしぎ京都伝統産業ミュージアムの謎

匠エキスポ内の展示や会場内に設置された和の空間を舞台に、京都の伝統産業をテーマにした謎を解き、ゲームクリアを目指す「体験型謎解きエンターテインメント」を実施。「和の空間」や和の空間を支える伝統産業の魅力を、子どもから大人まで幅広く知ってもらおう機会とする。

日時：令和8年1月24日（土）～3月31日（火）

場所：京都伝統産業ミュージアム



3 具体的な取組

(基本的な施策3_伝統産業に関する関心と理解を深める取組)

伝統産業×デジタル

動画配信、メタバースなど様々な媒体を活用して伝統産業の魅力発信、売上向上につなげる。

1 YouTubeチャンネル「京都館会議」

京都館館長の小山薫堂氏が、多様な切り口で京都の魅力を発信するYouTubeチャンネルで、伝統産業品をはじめとする京都市のふるさと納税返礼品を紹介

※ 京都の魅力を広く発信する「京都館プロジェクト」の一環として実施。

京都館プロジェクトでは、この他、新たな京都ファンを開拓するため、伝統産業製品の商品開発にも取り組んでいる。(R7：障害のある作家のライセンスビジネスを手掛ける「株式会社ヘラルボニー」と現代のライフスタイルに合った風呂敷の製造、卸、販売を手掛ける「山田繊維株式会社」がコラボして風呂敷を制作)



2 メタバース(京都館PLUS X)

バーチャル空間内で京都の魅力を発信する京都館PLUSXにおいて、

- ・ 伝統産業の工房や伝統産業に関するイベントなどの情報を発信
- ・ 伝統産業ミュージアムMOCAD ONLINE SHOPへの誘導
- ・ キモノインフルエンサーの特別動画を配信
- ・ きもののプロとキモノインフルエンサーによる着物トークイベント・交流会の実施。

日時：令和7年3月6日(木)



3 具体的な取組

(基本的な施策3_伝統産業に関する関心と理解を深める取組)

伝統産業×宿泊事業者(コトノムスビ・プロジェクト) ※令和4年度～

京都の工芸品・食材・体験などと京都の宿泊施設の縁をむすぶビジネスマッチングプロジェクト。

宿泊施設向けセミナーの開催(12月) ※R8新規要素



宿泊業界における、京都の伝統産業や食材等の活用促進および地域連携への関心向上を図るため、宿泊施設・地場産業分野の第一線で活躍し、地域連携やブランディング強化に取り組まれている方々を講師に招き、先進事例の紹介やその効果等に関する講演・ディスカッションを実施。

(参考)令和6年度事業での成約事例(一例)

ホテルリングス京都 × 京菓子司 金谷正廣 (京菓子)
ホテルザセレスティン京都祇園 × SOO (京友禅)

ホテルのウェルカムサービスで京都を感じられる京菓子を提供
京友禅手染め絹の「おふき」シリーズによるオリジナルノベルティを製作

ビジネスマッチング商談会の開催(1月)



出展者 市内の伝統産業品や農林業・食品等の32の事業者

伝統産業分野 ▶ 西陣織、京鹿の子絞、京友禅、京焼・清水焼、
14事業者 ▶ 京扇子、京都の金属工芸品、唐紙、京菓子など

来場者 市内の宿泊事業者をはじめ、旅行会社、飲食店、
観光関連施設、金融機関 等

3 具体的な取組

(基本的な施策4 活性化拠点施設等の機能の充実)

伝統産業技術後継者マッチング事業

伝統産業の技術後継者の候補となる学生や伝統産業の業界団体等に対して、伝統産業業界への就職に関する意識や状況等を把握する調査と、職場体験や学生と事業者の交流を行い、伝統産業技術後継者の雇用・就職につなげるマッチング事業を令和7年度から実施

○ 就職に関する意識調査・就職状況調査の実施及び分析

「伝統産業事業者」と「学生、学校」へ就職・採用に関するアンケートを実施

- ・事業者向け : 令和7年6月から雇用状況等についての調査を実施（回答期限は設けず実施中）
- ・学生、学校向け : 今後実施予定

○ 就職マッチングプログラム「産地合同インターンシップ」

- ・令和7年10月にインターンシップを実施し、職業体験や雇用主との座談会を実施
(西陣織、京鹿の子絞、京漆器、京表具、京象嵌、京銘竹の6事業者において、
合計31名の学生等が参加)

令和8年1月から2月にかけて、引き続き就職を検討している参加者を対象に2回目のインターンシップを実施予定



3 具体的な取組

(基本的な施策5_活性化拠点施設等の機能の充実)

公益財団法人 京都伝統産業交流センターとの連携

(公財) 京都伝統産業交流センターと連携し、京都の伝統産業の活性化に向け、未来の担い手・使い手の育成、伝統産業品の生活回帰・定着の促進、作り手が行う伝統産業活性化の取組支援など、様々な普及、啓発活動を実施

○ 未来の担い手・使い手の育成

- ・ 子どものための伝統産業・伝統工芸体験事業 (R7: 約2,800人が参加予定)
→和の文化・和の設えの施設(東福寺、金戒光明寺、函谷鉾町会所)のほか、児童館・児童養護施設などでも実施
- ・ 学校における伝統産業授業の活性化支援 (R7: 講師派遣3件、工房訪問等支援12件)



○ 伝統産業品の生活回帰、定着の促進

- ・ 「匠」ふれあい事業(文化財施設、首都圏ホテル、その他集客イベント等)
- ・ 他ジャンル、時事問題とコラボした事業 (SDGs、環境、科学等)

○ 外部資金の獲得

- ・ 文化庁「伝統文化親子教室事業」委託金の獲得
- ・ 公益財団法人、一般財団法人の助成金の獲得
- ・ 民間企業からの寄付金の獲得



○ その他

- ・ 作り手等が行う伝統産業活性化の取組支援(生産組合等の展示会開催支援等)
- ・ 「子ども京都伝統産業達人認定証」授与事業等、京都伝統産業ミュージアムと連携した取組

3 具体的な取組

(基本的な施策5_活性化拠点施設等の機能の充実)

京都市産業技術研究所との連携

地域の産業を技術面から支援する「京都市産業技術研究所」と連携し、研究開発はもとより、他分野との融合、マッチングから新商品開発、市場開拓につなげ、伝統産業の活性化につなげる。

○伝統産業技術後継者育成研修 ○京もの担い手プラットフォーム

- ・ 陶磁器・漆工・京友禅（手描）・西陣織・染色基礎等の8コースを実施
- ・ 若手担い手をメンバーとし、ポータルサイトを開設
- ・ 展示会や販売機会の創出、セミナー、交流会の開催
- ・ 修了生のサポート（製品開発、販路開拓、プロモーション）

○研究開発・マッチング

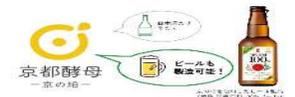
- ・ 伝統技術×先進技術・他分野（漆のタンブラーなど）
- ・ 京都酵母（ビール製造への展開、京都市交響楽団とのコラボ）
- ・ 文化財修復における科学的アプローチ

○技術相談

- ・ 各分野の研究者など専門家による相談対応
- ・ 京都市事業における専門分野のサポート（現地調査同行など）

○ その他

- ・ 京都工芸研究会→こうげい組体操（コラボ商品、見本市出展）
- ・ 京都伝統産業ミュージアムとの連携協定の締結（展示会、ミュージアムショップ販売、京乃TANAサテライトギャラリー展示）



3 具体的な取組 (基本的な施策5_活性化拠点施設等の機能の充実)

京都伝統産業ミュージアムの取組

令和5年9月に新たに観覧料を設定。

⇒観覧料収入は、職人実演の日当や展示品の充実などの業界支援、音声ガイドなどの案内機能の充実に充当。
一層の魅力向上を図り、更なるファンの獲得、事業者の売上増加、そして業界の活性化につなげていく。

●来館者数

令和6年度は1年間で約45,500人の来館者にお越しいただき、目標の40,000人を達成！
(令和7年度も12月までの9箇月間で約30,000人が来館されており、概ね目標を達成できる見込み)

●観覧料収入

令和6年度は約1,400万円の観覧料収入があり、目標の1,350万円を達成！

●ミュージアムショップ

- 商品展開の充実や定期的な商品の入替え、有料観覧者への200円クーポン券の配布などにより、令和6年度の売上は観覧料設定前（令和4年度）と比較し、約1.9倍に！
- 売上のうち、外国人で5,000円以上購入された方の売上額は、令和6年度は令和5年度の約1.3倍（令和4年度の約7倍）
インバウンドからの伝統産業品の需要は明らかに高くなっている。

●新たな企画展

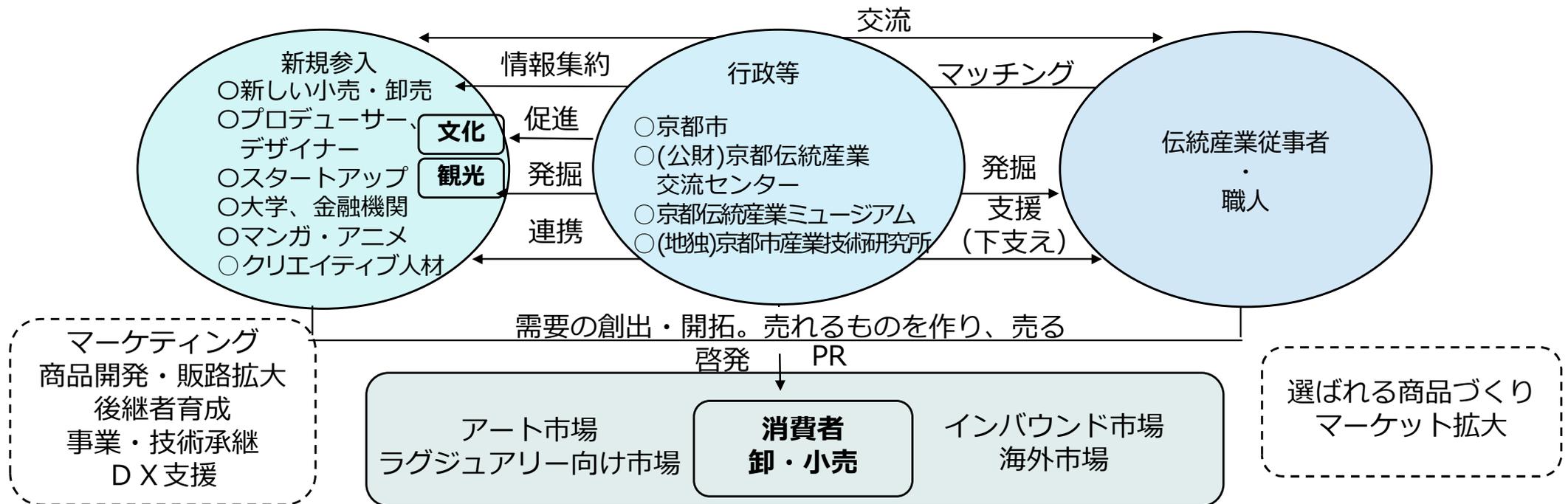
現代のライフスタイルの中でこそ生きる工芸品・製品の提案を顕彰する、京都クラフトアンドデザインコンペティション「TRADITION for TOMORROW」を令和6年度から新たに開催。



4 今後に向けて

行政などの今後の役割(マッチング)

これまでのような支援に加えて、伝統産業事業者「以外」と伝統産業事業者とのマッチング等も積極的に進める
 …伝統産業分野に関心のある民間事業者、金融機関、大学、プロデューサーと、意欲的な伝統産業事業者の情報を収集し、ビジネスマッチングの拠点に。



4 今後に向けて

次期 京都市伝統産業活性化推進計画の策定

現行の「第3期京都市伝統産業活性化推進計画」が令和9年3月に計画期間（10年）を終えるため、令和8年度に次期計画の策定に向け調査及び検討等を実施する。

※検討にあたっては、伝統産業事業者への調査や府市協調伝統産業対話会での意見等も参考のうえ、これまでの課題も踏まえて、京都市伝統産業活性化推進審議会において御議論いただく。

○策定スケジュール(案)

令和8年4月	審議会委員一斉改選
5月	第1回審議会・策定部会（計画の方向性、調査事項の協議）
6月～	各種調査を実施、計画素案検討
11月	第2回審議会・策定部会（素案について協議・提示）
12月	パブリックコメント実施
令和9年1月	第3回審議会（計画案の最終答申）
2月	計画策定、公開

○必要な調査(案)

- ・市指定74品目に係る現状調査（アンケート調査、先進事例の聞き取り等）
- ・個別事業者への聞き取り（海外向け販路開拓の状況等）
- ・他都市先進事例の調査

4 今後に向けて

京都市の伝統産業を取り巻く状況

【データから】

- ・生活様式の変化等を原因とした**需要の大幅な低迷**（指定74品目の出荷額：H18 約2,684億円→R6 約1,050億円 ▲61%）
- ・**従事者数の減少**（指定74品目への従事者数：H18 27,668人→R6 12,256人 ▲56%）
- ・**後継者の確保難**（指定74品目に従事する20代以下の職人は全体の6%）

【事業者への聞き取り】

- ・生産者の高齢化、**道具・原材料の確保が困難**
- ・細分化された生産体制により、**一部の製造工程において存続が困難**
- ・海外も含めたのクリエイティブ人材を受け入れる体制や、京都の若者・地域が交流する仕組みが十分には整っていない
- ・京都が守り継いできた文化遺産や伝統文化の担い手や守り手が著しく減少しており、**今後継承していくための仕組みづくりが課題**

【府市協調伝統産業対話会】

- ・これまで問屋や商社が担っていた「**職人と消費者の間をつなぐ機能**」が、従来の形ではうまく働かなくなっている
- ・海外展開には、結果が出るまで長期的に取り組むことが必要だが、費用が高額となるなど、**継続的な海外への事業展開が難しい事業者も多い**
- ・**消費者のニーズ把握・消費者への情報提供の不足**

【(参考)市政の方向性】

- ・2050年の未来を見据え、「こういうまちであり続けたい」という、京都が目指すまちの姿を描く「**京都基本構想**」を策定
⇒「京都基本構想」の理念を具現化する最重要施策の1つとして「**京都学藝衆構想**」が掲げられている。
地域の「匠」を中心に、幅広い世代に向けて多様な学びや体験の機会を提供し、次代の担い手育成につなげていく。

御議論いただきたいこと

- ① 普段のお取組の中で感じておられる
京都の伝統産業の課題・可能性

来年度からの次期計画策定も見据え、

- ② 次期伝統産業活性化推進計画策定に向けて必要な調査

について御議論ください。